



令和5年度

埼玉ロボネット会員対象

参加無料

埼玉ロボネット分野別研究会

建設・点検編 第1回



埼玉県は、圏央鶴ヶ島IC周辺に「社会的課題解決に資するロボット」の開発を支援する「SAITAMAロボティクスセンター（仮称）」を令和8年度開所に向けて整備しています。

ロボティクスセンターの開所に先駆け、7月に設立した「埼玉県ロボティクスネットワーク（略称：埼玉ロボネット）」会員を対象とし、建設・点検分野のロボット開発や社会実装を支援する研究会を開催します。

本研究会では、建設・点検に関するロボットの先進事例発表や課題・今後の展開をテーマとしたワークショップを実施するほか、プロジェクトの創出を見据えたマッチング支援も実施します。



埼玉ロボネット分野別研究会 (建設・点検編)について

「埼玉ロボネット」とは

SAITAMAロボティクスセンター（仮称）の開所に先駆け、ロボット開発に関わる多様な主体が協働してロボット開発や社会実装を促進するために埼玉県が設立した組織です。

第1回研究会

事例紹介(3件)

ワークショップでの
事例発表者との取組み
の掘下げ・意見交換

名刺交換
・
交流会

ファシリテータによる
フォローアップ及び
マッチング支援

➤ 第2回研究会で更なる掘下げ
➤ 建設・点検ロボット開発
プロジェクト創出及び併走支援

埼玉ロボネット分野別研究会

建設・点検編 プロジェクトコーディネーター



東京大学 大学院
工学系研究科 特任教授
永谷 圭司 氏

【略歴】

1997年 筑波大学大学院博士課程修了、
博士（工学）、カーネギーメロン大学
ポスドク、岡山大学 講師、東北大学
准教授を経て、現在は東京大学大学院
工学系研究科 特任教授、ムーンショッ
ト型研究開発事業 目標③プロジェクト
マネージャー、フィールドロボティク
スの研究に従事。

事例紹介

東京大学 大学院
工学系研究科 特任教授 永谷 圭司 氏

株式会社大林組
技術本部 技術研究所
地盤技術研究部 研究員 松崎 晃 氏

株式会社アームレスキュー
代表取締役 田中 章 氏



開催形式

集合開催と動画オンデマンド配信
※講演動画を11月1日から11月15日
までオンデマンド配信します。

会場

新都心ビジネス交流プラザ4階会議室
(さいたま市中央区上落合2-3-2)
JR北与野駅前
JRさいたま新都心駅 徒歩8分

対象

埼玉ロボネットに入会済みのロボット開発
関連企業、建設関係事業者等

申込

以下URLまたは右のQRコードから
埼玉県ホームページにアクセスいただき、
申込フォームに移動してお申込みください。
※埼玉ロボネットに未入会の方は入会登録をお願いします。
入会方法は申込フォーム内でご確認ください。
[https://www.pref.saitama.lg.jp/robotics/
seminar/info/robonet-k_20231025.html](https://www.pref.saitama.lg.jp/robotics/seminar/info/robonet-k_20231025.html)

定員

会場参加50名



QRコードは懸デンソノウェブの登録商標です。



埼玉ロボネット分野別研究会

建設・点検編 第1回

タイムテーブル

13:00 ～ 13:15	開会挨拶、埼玉ロボネット分野別研究会について 	埼玉県 産業労働部 次世代産業拠点整備担当
13:15 ～ 13:45	基調講演 ロボット技術を活用した 建設・点検の生産性向上 ～できていること・これから期待されること～  近年、建設業界では、若年労働者の減少や高齢化による熟練技術者の不足の問題が急速に深刻化しているため、土木現場における生産性の向上は喫緊の課題です。 これを解決する一つの手段が、ロボット技術を活用した建設機械の無人化、高度化です。 本発表では、「建設業における生産性向上」のため、これまでどのような技術が実現されてきたかを紹介し、今後どのような問題を解決すべきかについて議論します。	 東京大学 大学院 工学系研究科 特任教授 永谷 圭司 氏
13:45 ～ 14:05	事例 1 IoT機器とクラウドを活用した 締固め管理システム  従来、建設現場での品質管理には現場での試験・計測やデータの取りまとめに時間や労力を要しており、必要なデータをリアルタイムに自動計測する技術を用いた効率化や省力化による生産性向上が求められています。 従来の課題と「(仮称)次世代αシステム」の特長や各IoT機器の利用について説明します。 また、自走式散乱型R1ロボットの開発経緯と試行錯誤、クラウドを用いた管理システムの今後の展望について紹介します。 ワークショップではソフト開発やロボット開発、IoTに知見のある企業の参加を希望します。	 株式会社大林組 技術本部 技術研究所 地盤技術研究部 研究員 松崎 晃 氏
14:05 ～ 14:25	事例 2 災害復旧に貢献する災害ロボットの 建設現場への展開  災害活動で活躍する災害ロボットは、特殊環境での人命救助やAI搭載による情報収集等、高機動性と優れた技術を駆使しています。こうしたロボットは建設現場でも被害状況評価や物資の供給に活用でき、今後の展開が期待されます。 消防、災害ロボットの試作、量産を検討しているため、ワークショップでは金属加工などのできる会社の参加を希望します。	 株式会社アームレスキュー 代表取締役 田中 章 氏
14:35 ～ 15:35	ワークショップ 本日紹介のビジネス・事例への 関わりの可能性検討 ワークショップでは、参加者の皆様にグループに分かれていただき、ファシリテータの進行のもと、発表事例への参画等について検討します。今後のフォローアップも行いますので、積極的にご参加ください。 ワークショップでは、自社の技術を様式1枚にまとめた「ロボット関連技術PRカード」で自己紹介をしていただき、情報交換、ビジネス検討を行っていただけます。 今後のビジネスマッチングにも使用しますので、可能な限り事前に作成をお願いします。 https://www.pref.saitama.lg.jp/robotics/database/prcard.html	 プロジェクトコーディネーター 東京大学 大学院 工学系研究科 特任教授 永谷 圭司 氏 公益財団法人埼玉県産業振興 公社、NPO法人ロボットビジネ ス支援機構のコーディネーター がファシリテートを実施します。 ファシリテータ 村上 出 氏 酒井 貴之 氏 宮川 弘平 氏
15:35 ～ 16:00	名刺交換会・交流会 会場でのロボットの展示も予定しています。	 埼玉県マスコット 「コパトン&さいたまっちゃん」